

「杉並区民の手でネパールに学校を！」キャンペーン第5弾実施！ ～杉並区役所2階ギャラリーで展示会もおこないます～

国際協力NGOチャイルド・ファンド・ジャパンは、書き損じハガキを集めて、ネパールに学校を建設する「杉並区民の手でネパールに学校を！」キャンペーンを行います。このキャンペーンはチャイルド・ファンド・ジャパンが事務所を置く杉並区で開催され、今年で5回目となります。過去4回のキャンペーンでは区民の皆さまより多くのご協力をいただき、ネパールで4つの校舎建設を支援することができました。2014年12月22日から26日(23日祝日を除く)、杉並区役所2階ギャラリーで、これまでに建設された学校やネパールの子もたちの写真を展示します。

チャイルド・ファンド・ジャパンが事務所を置く杉並区は、ネパールとのつながりが深い地域でもあります。杉並区内の外国人数を国別でみると、中国、韓国についてネパールが第3位となっており、多くのネパール人が杉並区で暮らしています。また、世界で初めてのネパール人学校「エベレスト・インターナショナルスクール・ジャパン」があるのも、杉並区の阿佐ヶ谷です。

チャイルド・ファンド・ジャパンは、杉並区とネパールのつながりをさらに深めることを目指して、2010年に「杉並区民の手でネパールに学校を！」キャンペーンを開始しました。これまでのキャンペーンでは杉並区や杉並区教育委員会、ネパール大使館にもご協力をいただき、杉並区の多くの方から、沢山の書き損じハガキ・未使用切手を送っていただきました。区内のすべての公立小中学校にもご協力いただき、児童、生徒、ご家族の皆さまがキャンペーンに参加しました。キャンペーンによって、これまでに4つの教室がネパールで建設・改築され、大勢の子もたちが新しくきれいな教室で勉強できるようになりました。2014年12月22日から26日(23日祝日を除く)、杉並区役所2階ギャラリー(杉並区阿佐ヶ谷南1-15-1)でその様子を展示します。またエベレスト・インターナショナルスクール・ジャパンの子もたちが「わたしたちの夢、ぼくたちの夢」をテーマに絵を描き、その展示も予定しています。



支援で建設されたサラスウォティ小学校に通う子どもたちと学校関係者



完成した学校校舎に設置された「なみすけ」が描かれた記念パネル

主催	特定非営利活動法人 チャイルド・ファンド・ジャパン
後援	杉並区、杉並区教育委員会、杉並区交流協会、ネパール大使館、エベレスト・インターナショナルスクール・ジャパン
開催期間	2014年12月1日～2015年2月28日
集めているもの	未使用の(書き損じた)年賀状、官製ハガキ、未使用の切手
送付先	〒167-0041 東京都杉並区善福寺 2-17-5 すぎなみ係

※区外の方からのご寄贈もお受けしています。

※ハガキに記載された個人情報に充分留意して取り扱います。

※回収されたハガキは、郵便局で5円の手数料を払って新しい切手に交換されます。交換した切手や未使用切手を団体の郵便物発送の際に利用し、切手の購入予算をプロジェクトの支援金として活用します。

記事についてのお問い合わせ先

特定非営利活動法人 チャイルド・ファンド・ジャパン 募金グループ 小保方
TEL : 03-3399-8123 携帯 : 080-3497-9544 FAX : 03-3399-0730
〒167-0041 東京都杉並区善福寺 2-17-5
E-mail : childfund@childfund.or.jp URL : http://www.childfund.or.jp/

参考資料

特定非営利活動法人 チャイルド・ファンド・ジャパン
 理事長 = 高田和彦 事務局長 = 小林毅

チャイルド・ファンド・ジャパンは、1975 年から、アジアを中心に貧困の中で暮らす子どもの健やかな成長、家族と地域の自立を目指した活動をしています。

ビジョン : すべての子どもに開かれた未来を約束する国際社会の形成
 ミッション : 生かし生かされる国際協力を通じて子どもの権利を守る

【活動している国】

フィリピン、ネパール、スリランカ

【活動内容】

① **スポンサーシップ・プログラム（子どもを「1対1」で支援）**

日本の支援者が、途上国に暮らす子どもを支援する支援活動。「1対1」のつながりを通して、子どもの成長や家族の生活改善、住民主体の組織づくりを支援。支援者と子どもは、文通を通して繋がり、子どもの成長を感じることができます。

② **支援プロジェクト（特定の課題解決を目指した活動）**

貧困に起因する様々な問題の中で、特定の開発課題に応える支援事業です。実施する内容は国、地域、時期によって異なります。詳細は、事務所までお問い合わせください（☎03-3399-8123）

③ **緊急・復興支援事業**

台風や地震などの自然災害の被災者や、地域紛争による避難民を支援する事業です。

【チャイルド・ファンド・ジャパンの 40 年のあゆみ】

第二次世界大戦後、アメリカの民間団体 CCF (Christian Children's Fund : キリスト教児童基金)が日本の戦災孤児への支援を始め、この支援の受け入れ母体としてチャイルド・ファンド・ジャパンの前身が設立されました。CCF は延べ 86,000 名の日本の子どもを支援し、活動を終了しました。CCF から日本に受けた恩恵を、日本から支援を必要としているアジアの国々へ返そうと、杉並区善福寺を拠点に国際協力活動を続け、2015 年 40 年を迎えます。

【寄付金控除】

チャイルド・ファンド・ジャパンは国税庁長官が「認定 NPO 法人」として認定している約 256 団体のひとつです(2014 年 1 月現在)。皆様からの支援金は寄付金控除の対象となり、税制上の優遇措置を受けられます。

※チャイルド・ファンド・ジャパンは特定の宗教や政治団体とは一切関係ありません。